

●待降節第二十日

# 泉のほとり

今月の詩篇「第九編」

わたしは心を尽くして主に感謝をささげ  
驚くべき御業をすべて語り伝えよう。



## 恵みの約束

今日からアドベントに入ります。説教壇の本日のろうそくに火が灯りました。毎週増え行つて、周りの四本と点ん中の一本の全部に火が灯るとクリスマスです。

クリスマスを楽しむはプレゼントです。プレゼントでいただくものは、よい物ですね。わたしの家にもいただいた物がたくさんありますが、みなよい物です。考えて見ると、プレゼントする時にも、相手に喜んでもらいたいから、よい物をあげますね。

クリスマスにどうしてプレゼントをするのでしょうか。それはイエスさまが神さまからのプレゼントだからです。イエスさまが来てくださったことが、神さまからのすばらしいプレゼントなのです。

プレゼントはただでいただきます。神さまからのプレゼントもただでいただきます。どうしてだかという、どれほどお金を積んでも買えないからです。世界中のお金持ちが集まって、持っているお金を全部集めても、神さまからのプレゼントを買うことはできません。だから神さまは、ただで主イエスをわたしたちのところへ送ってくださいだったので。

皆さんはクリスマスを、家族や友だちと楽しく過ごしましょう。でもクリスマスをひとりでも過ごす人もいます。入院してベッドの中で過ごす人もいますし、いろいろな事情で一人暮らしをしている人もいます。皆さんも、いつかひとりでクリスマスを過ごすことがあるかも知れません。その時は思い出してくだ

さい。主イエスはそういう人のところへ来るために、馬小屋でお生まれになったのです。

ひとりでクリスマスを祝う時には、テーブルの上に一本ろうそくを灯します。そして「イエスさま、ようこそおいでくださいました。馬小屋でお生まれくださったあなたです。この寂しいわたしの部屋にも来てくださると信じます。イエスさま、ありがとうございます」と、そう言つてクリスマスをお祝いするのです。

主イエスが馬小屋でお生まれになったのは、宿屋に部屋がなかったからです。でもこれは、たまたまそうだったのではなくて、神さまがそうなされたのです。それは羊飼いたちのように、友だちもなく寂しい思いで生活をしている人たちが、クリスマスをお祝いできるように。

馬小屋の幼子としておいでになった主イエスは、もう一度、世の終わりに、今度は世界の王さまとしておいでになります。その時この世界は、争いのない平和な世界になります。神さまがそのことを約束してくださいます。それは恵みの約束です。この約束に従つて、クリスマスの出来事が起こりました。この約束に従つて、主イエスはもう一度おいでになります。説教壇のろうそくは、この神さまの約束を、わたしたちに思い起こさせてくれるのです。

(エレミヤ三三・一四〜一六)

## 祈り

○外に雑音が聞こえ、わたし其の内に  
も波立つような音が聞こえること  
も、さらに深くあなたを拝むことが  
できるよりに備えていてくださる主イ  
エス・キリストの父なる御神。御前  
に立つひとときの、しかし永遠の深  
さを持つ静けさを今、真実に味わ  
知る礼拝の時としてくださいますよ  
うに。

全世界に祈りを鎖のように連ね続け  
ていきます諸教会が、この地上にあ  
りまして、そのよまな真実の静けさ  
を作る群れとなり、永遠の確かさの  
鎖となることが出来ますように。多  
くの人がひとが祈りの家を訪ねるとき、  
あなたが生きておられることを静か  
に、しかし、確かに信じて帰ること  
ができますように。今ここにいて  
も、どうぞ御言葉を豊かに聞かせて  
ください。その静けさの中で、あな  
たの御言葉においてわたし共は知りま  
す。あなたの心を神として拝み続け  
る日々であったかを、真実に父と母  
を敬い続けた日々であったかを、真  
実に、それを必要とする者の傍らに  
隣人として立つことができたかを。  
これらのことにおいて恥ずかしい思い

を持って白らの歩みを振り返るものであり  
ます。そこに認めざるを得ないわたし共の  
罪を取り去り、罪に囚われることなく、  
解き放たれた静けさと平安を知ることに  
できますように。

今ここにあってなお疲れを覚えておりま  
す肉体や心をあなたが励ましてください。  
ただひとつ、御言葉とそこから聞こえてま  
いります真理とに集中することができま  
すようにお願いいたします。唯一の慰めを聞  
かせてください。そして、このただひと  
つの慰めを必要としている多くの悩みある  
友に、聞いの中にあります友に、何がま  
ことの慰めであるか分からないまま悩みの  
中にあります家族に、親しい友の上にあな  
たの願みがあり、あなたの抱きがあります  
ように。

今ここで聞きます御言葉を、真実の自分  
の魂の糧として受け入れ、喜び勇んで互  
いに祝福を祈り交わしながら、ここを出て  
行くことができますように。年老いた者、  
年若き者、さまざまな道に立ちます者、  
そのひとつひとつの道において、あなたに  
遣わされて生きることが出来ますように。  
今、そのよまな者にふさわしい礼拝をささ  
げさせていただきます。

主イエス・キリストの御名によつて、  
感謝し、祈り願います。アーメン  
(加藤常昭「み前にそそぐ祈り」より)

## 今日のお知らせ

○第一礼拝後、教会学校と並行してロビーで  
のコーヒーサーピストと、圖書二階リズム室  
では、「ぶどうの会」が開かれます。どう  
ぞご参加ください。

○午後一時半から教会員懇談会を開いてクリ  
スマス伝道とイブ礼拝の相談をします。教会  
員はお集まりください。

○今週のクリスマス集会

七日(水)

朝の聖書の会クリスマスマス

老人給食ボランティアクリスマスマス

ウエンスデイナイトクリスマスマス

七・八日(水・木)

ボビークラスクリスマスマス

○一二月二四日(土) 午後四時半と六時半の

二回、クリスマススイブ礼拝を行います。

今、受付、案内、献金奉仕などの奉仕者を  
募集しています。短時間でもご奉仕いた  
けると感謝です。

○明日五日、ホールで、東京説教塾の例会が  
開かれます。アレテイエ誌を用いて、黙想  
と説教について学びます。

## ラバウルだより

### 「オイスカラバウルの再建」

主の聖名を讃美致します。

長い間重荷になっていたオイスカラバウル研修センターの所長が漸く確定することが目前に迫って来ました。今オイスカ本部から現地の支局長への手紙の案が先日私に来ましたので、その返事を持って所長職の件は完了となります。品川教会の兄弟姉妹のお祈りを感謝致します。

本部も現地スタッフの多くも私に期待していましたが、現地のオイスカ文局はその意向に反して副所長であったノベット君を所長に指名したため、オイスカ本部と現地との間で不和が生じ、スタッフのストライキも3週間続きました。前所長の経歴が今年の3月でした。前任者の在職中、今迄一緒に活動してきた他の現地NGOや教育機関との関係もひとつずつ絶えて、当センターは孤立したような状態に突き落とされました。神様から当研修センターへの祝福のバイブであるべき所長が誠実にその職を担わなかったため、多くの不和が生じ収入源もひとつずつ閉ざ

されて行きました。

そういう大きな危機感を持つ中、新しく所長に指名されたノベット君に神様は当研修センターの歩むべき道を示され、そして彼は正しく応えました。「当センターの基礎を主イエス様とする」という宣言を彼はスタッフ会議でしたのでした。「イエス様が本当の所長で自分は一人の働き人に過ぎません」と言う自分の立場を明確にしました。そしてどの様にこのラバウル研修センターを再建するか、そのビジョンがスタッフに説明されました。

荏原美知勝



○華園香音美伝道師は、本日午後二時から、山形第一聖書バプテスマ教会で、また明日は午前10時から、東京幼稚園のクリスマスコンサートで奉仕をします。どうぞお祈りください。

## 聖書の会

12月7日(水)

○朝の聖書の会クリスマス祝会 10時

歴史の焦点、キリスト

マタイ1章1〜17節

黄允浚 副牧師

会費 二百円

○聖書の夕べ 19時

ウエンズデイナイトクリスマス

会費 七百元食事付き

「星に導かれて」

マタイ2章1〜12節

吉村和雄 牧師

## ミニコンサート

12月15日(木) 13時開演

「ああ、ベツレヘムよ」他

ハンドベル演奏

## 次週礼拝

●第1礼拝(午前9時30分)

讃美歌 95番 97番

説教 「救いにふさわしい夫を結べ」

聖書 ルカ3章10〜18節

説教者 吉村和雄 牧師

●第2礼拝(午前11時10分)

讃美歌 96番 341番

詩編 第9篇

説教 「一点一画も消え去ることはない」

聖書 マタイ5章17〜20節

説教者 黄允浚 副牧師



## 第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 95番

97番

説教 「主の道を備えよ」

聖書 ルカ3章1～6節 (新約P105)

司式者 山下純一 兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 黄允澁 副牧師

前奏曲 「一輪のバラは咲きて」 J.ブラーム

### ○ 讃美歌 95番(1.3.5)

1.わが心はあまつ神を とうとみ

わがたましい 救い主を

ほめまつりて よろこぶ

3.御名は清く 大御業は かしこし

代々にたえぬ みいつくしみ

あおぐものぞ うくべき

5.アブラハムのすえをとわに かえりみ

イスラエルを 忘れませで

救いたもう とうとさ アーメン

### ○ サクソフォンによる讃美

「クリスマス デイ」

### ○ 讃美歌97番 (1.3)

1.朝日は昇りて 世を照らせり

暗きにすむ人 きたりあおげ

知恵に富みたる主 世にいでたり

愚かなる人は きたりまなべ

3.救いを賜う主 世に生れぬ

高きも低きも きたりいわえ

天地しらす主 世にあらわる

よるずの物みな どよみうたえ

聖餐曲 「パストラレー」 J. バッハ

後奏曲 「来たりませ異邦人の救い主」 J.S.バッハ

## 第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 94番 385番

詩編 第9篇 (旧約P840)

説教 「悪評を受けても好評を博しても」

聖書 IIコリント6章3～13節 (新約P331)

司式者 山下純一 兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 吉村和雄 牧師

前奏曲 「来たりませ異邦人の救い主」 J.S.バッハ

### ○ 讃美歌 94番

### ○ サクソフォンによる讃美

「クリスマス デイ」

### ○ 聖歌隊による讃美

「星よ光りて」 作詩 水野源三 作曲 川口耕平

ユダヤの同の 小さき村に

悩み苦しむ 人々すくう

神の一人子 生まれしことを

知らせよ知らせよ 星よ光りて

君の君をば 拝するために

暗き夜道も 喜びいさみ

歩むものを はるか導き

進めよ進めよ 星よ光りて

救いのみ子が うぶ声あげて

ま白きぬので くるまれたまい

静かに眠る うまやの上に

とまれよとまれ 星よ光りて

### ○ 讃美歌 385番

聖餐曲 「ノエル」 A.ギルマン

後奏曲 「来たりませ異邦人の救い主」 J.S.バッハ

\* 礼拝には、聖書、讃美歌、礼拝のしおりを毎回お持ちください。